

秦野高等学校 令和8年度 1学期終業式

日 時 令和8年7月17日（金） 11：40

場 所 オンライン

皆さん、おはようございます。

本日、無事に1学期の終業式を迎えられることを、嬉しく思います。4月の始業式、入学式から始まり、新しいクラス、新しい学習、そして部活動や学校行事など、皆さん一人ひとりが全力で駆け抜けた3か月半だったのではないのでしょうか。今一度、この1学期の自分自身の取組を振り返り、成長した自分を大いに褒めてあげてください。

さて、明日からはいよいよ、待ちに待った夏休みが始まります。このまとまった時間が取れるタイミングで、皆さんに伝えておきたいことがあります。それは、これからの時代を生きる皆さんに求められている「学びの姿勢」についてです。

令和8年2月13日、文部科学省から『高校教育改革に関する基本方針（グランドデザイン）～2040年に向けた「N-E.X.T.（ネクスト）ハイスクール構想」～』が発表されました。N-E.X.T.（ネクスト）とは、New Education（ニーズに対応した教育機会・アクセスの確保）、New Excellence（最先端を学ぶ高校の特色化・魅力化）、New Transformation（学びの在り方の転換）、3つの言葉の頭文字を合わせたものです。

まず、そのメッセージを伝えます。

「2040年の未来を担うみなさんへ 2040年、世界は、今から想像もできないものになっているでしょう。どのような世界であっても、社会の一員として持てる力を発揮し、2040年を動かしていくーその主役がみなさんです。心惹かれることに打ち込み、夢や希望を持って様々なことに挑戦し、自分自身の理想を追い求め、多くの仲間と協力し、日本や世界の未来をつくっていくことを願っています。社会へはばたく皆さんの背中を強く押せるよう、今こそ、高校を進化させていきます。」

このメッセージ、私は秦高生にぴったりだと感じました。2040年、あと14年後、みなさんがまさに社会の第一線で活躍している時期です。

「N-E.X.T.（ネクスト）ハイスクール構想」は、次の時代を見据えた新しい学校づくりです。その中核にあるのが、本校でも取組まれているSTEAM教育であり、とりわけ「理数系人材の育成」です。今後ますますAIが台頭する中で、文系職種は余剰が発生する一方、いわゆる理系人材の不足が生じる可能性があると言及されています。

「理数系」と聞くと、もしかしたら「自分は文系だから関係ない」とか「理系は苦手だし」と思った人がいるかもしれません。しかし、それは大きな誤解です。

これからの「理数系人材」とは、単に数学が得意で難しい計算ができる人や、物理の公式をたくさん覚えている人のことではありません。「目の前にある複雑な課題に対して、データを集め、論理的に分析し、自分なりの最適解を導き出せる人」のことです。

科学 (Science)、技術 (Technology)、工学 (Engineering)、芸術・教養 (Arts・Liberal Arts)、そして数学 (Mathematics)。これらが融合した STEAM 教育の本質は、教科の枠に閉じこめるのではなく、それぞれの知識を「道具」として使いこなし、現実の社会をより良くしていくことにあります。

今、AI の進化をはじめとするテクノロジーの発展によって、社会は 1 年先も見通せないほどのスピードで変化しています。これまでの「正解を覚える勉強」だけでは、これからの時代を生き抜くことはできません。「なぜ、こうなるのだろう?」「もっと効率的な方法はないか?」という探究心、つまり理数的な思考アプローチこそが、文系・理系を問わず、皆さんの未来を切り拓く最強の武器になります。

受験を控えた 3 年生は、自分の進路に向けて、これまでになく密度の高い学習に取り組むことになります。蓄えた知識を論理的につなぎ合わせ、応用力を磨く夏にしてください。

1、2 年生の皆さんは、ぜひ教科学習の枠を超えた「未知の体験」に挑戦してください。部活動だけでなく、例えば科学コンテストへ応募してみるとか、地域の課題解決ボランティア、プログラミング、あるいは一冊の専門書を読んでみることで構いません。「面白そうだな」、「どうしてだろう」と感じる自分の直感を大切に、深く掘り下げてみてください。

予測困難な未来は誰かに与えられるものではなく、皆さん自身の手で、その論理的な思考と創造力によって創り出すものです。数学が苦手だからとりあえず文系、というような安易な選択ではなく、理数系に是非チャレンジしてください。文理にとらわれない幅広い教養を備えることが、これからの皆さんには必要です。

私は元家庭科教員ですが、高校 3 年で理系選択しました。当時、家庭科教員を目指していたわけではなく、数学も得意ではなかったですが、家庭科は様々な分野があるので、結果として、理系の基礎知識はとても役に立ったと思っています。

では最後に、来週 7/20(月)～26 日(日)は、「ともに生きるかながわ推進週間」です。まずは、自分を大切にしてください。次に、自分と同じように、周りの人も大切にしましょう。

夏休み期間中も、規則正しい生活を心がけ、健康と安全には十分に留意してください。2 学期始業式、逞しい知性を身につけた皆さんと、元気な姿で再会できることを楽しみにしています。

そして、2 学期はいよいよ創立 100 周年記念事業があります。皆で盛り立てていきましょう。

以上で私の話は終わりです。有意義な夏休みにしてください。

